

校長室から



校長 稲葉 秀哉

豊かな教育活動を進めるために

変化の激しいこれからの社会を生きるために、「確かな学力」「豊かな人間性」「健康・体力」の知・徳・体をバランスよく育てることが大切です。「確かな学力」としては、基礎的な知識・技能を習得し、それらを活用して、自ら考え、判断し、表現することにより、さまざまな問題に積極的に対応し、解決する力を育てたいと考えています。「豊かな人間性」としては、自らを律しつつ、他人とともに協調し、命を大切にする心や他人を思いやる心、感動する心などの豊かな人間性を育てたいと考えています。「健康・体力」としては、たくましく生きるための健康や体力を身に付けさせたいと考えています。

これら知・徳・体の面から「生きる力」を育てるために、学校は、地域や家庭、近隣の小学校と連携し、保護者の皆さんや地域の方々のご協力を得ながら、豊かな教育活動を進めていきたいと考えています。

地域との連携

豊かな教育活動を進めるに当たって「地域との連携」が大切であると言われていています。それは、地域と連携することで、学校はとて豊かな教育活動を展開することができるからです。特に、中学校の場合、後期義務教育の場として、社会人として必要な知識や技能はもちろんのこと、人としての生き方について深く学ぶわけですが、それには、教室で学んだことを地域での体験活動の中で生かし、さらに深めるという学習が大切です。

特に、命の大切さや思いやり、協力、ルールを守ること、職業の大切さなどについては、本当に社会の中で必要不可欠なものであるということを実感し、自分の生き方として確立してほしいと考えています。生徒一人一人が、学校で学んだことは学校の中だけで通用することではなく、社会で通用し、また、社会で必要不可欠なことを学んでほしいと心から願っています。そのためにも地域の優れた教育力を学校に導入することや、生徒が地域に出て行き体験活動を行うことが重要であり、こういった地域との連携が不可欠です。

◎地域をとり入れる

「地域との連携」でまず大切なのは、地域の優れた教育力を学校に導入することだと思います。地域には、高い専門性や技術をもっている方が多くいらっしゃいます。そういった方々の力を、生徒が教科の学習を進めたり、地域について学んだりする学習活動に活用していただければ、学校はより豊かな教育活動を行うことができると考えます。

◎地域に出る

また、生徒が地域に出て、地域を学び、地域で活動することが大切です。近隣の都立工業高校の例ですが、学校の特色である「ものづくり」の技術を生かし、地域のお年寄りや障害のある方にとって日常使いやすい物を

作ろうと養護学校や特別養護老人ホームと連携しながら計画を進めている学校があります。たいへんすばらしい取り組みであると思います。生徒自らが、まちに出て、まちを学び、まちの課題を知り、その課題の解決のために学校で学んだことを生かし、工夫し、創造する体験学習活動がきわめて重要であると思います。

◎地域を「学びの場」に

本校では、1年生が「職業体験」を行っていますが、地域の多くの商店や事業所などの方々にたいへんお世話になっています。また、地域の商店会の呼びかけにより3年前から毎月第1日曜日の朝8時から学校の周囲や町の通りを中心に清掃活動に取り組んでいます(平成22年度「板橋区青少年表彰」受賞)。このように地域の方々には本校の生徒がボランティア活動を体験する機会を多く提供していただき、感謝しております。

生徒一人一人が、必要な知識や技能を身に付け、課題を解決する力を持ち、豊かな人間性をもった自立した社会人として育てていくために、今後も、こういった活動の場をもっと多く増やしていけたらよいと考えています。学校と家庭、地域が一緒になって、まさに地域全体で子どもを育てる環境になればよいと願っています。そのためには、地域全体が「学びの場」になればすばらしいと思います。

「賢くありません学びのエリア」—小学校との連携—

小学校から中学校への環境の変化は、子どもたちにとって大きな負担となる場合があります。学校生活への不適應を生じさせる大きな要因にもなり得ます。「中一ギャップ」と呼ばれる問題です。子どもたちが、小学校から中学校に円滑に移り、小学校で認められた個性や能力、興味や関心を中学校でも継続して伸ばしていけることが大切です。小学校と中学校は、学習指導や生活指導などにおいて連携・協力した取り組みを行うことが求められています。上記のような問題を解決するために、本校は、近隣の成増ヶ丘小学校・成増小学校・三園小学校と一緒に「賢くありません学びのエリア」を結成し、連携教育を進めています。



「リトルティーチャー」



「ビッグティーチャー」



「チームティーチング」

連携教育の一つとして、学習面では、「リトルティーチャー」(中学生による小学生への学習支援)「ビッグティーチャー」(中学校教員による小学生への授業)「チームティーチング」(小・中学校教員による協同授業)等の取り組みを行っています。子どもたちが中学校の生活に円滑に移るのに、学習の面でも、心の面でも、小学校の先生の協力が大きな助けになります。この小学校との連携教育は、教科の授業以外にも、行事や総合的な学習などさまざまな教育活動において行っています。

家庭・PTAとの連携

家庭教育はすべての教育の「出発点」です。基本的な生活習慣・生活能力、豊かな情操、他人への思いやり、善悪の判断などの基本的な倫理観、社会的なマナー、自制心や自立心など「生きる力」の基本的な資質や能力は、家庭教育において培われます。学校は、家庭と連携し、子どもたちの心身の健全な育成を進めていくために全力を尽くしてまいります。保護者会や面談等で直接保護者の方々と相談、情報の交換・提供を行う機会を充実させると共に、学校だよりや学年だより・学級だより等の各種広報で種々の情報を提供してまいります。

また、豊かな学校教育を進めるためには、ご家庭のご理解とご協力が不可欠です。特に、PTAとの緊密な連携により、各種行事や研修会等の充実を図ってまいりたいと思います。ご協力をよろしくお願いいたします。